

2019 年度 授業概要

科目名	健康靴と調整			授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
足の疾患や変形について学び、それぞれのケースに適した調整方法などの知識と、調整技術を習得することを目的とする。また、健康靴の構造と加工方法・フットプリントの採取方法・情報収集の仕方を学び、フットプリントをもとに健康靴の調整・加工を進める技術を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
1日に1つの靴調整についてその適応・製作方法を学び、完成させる。まず講師が講義をし、その後製作のデモンストレーションをした後、学生は時間内にその製作課題を完成に向けて製作していく。製作途中、または完成後に講師がチェック・評価を行う。本実習では達成目標である4つの靴調整方法を学び、最終日には時間内に課題を仕上げる製作試験を行う。								
〔講師の実務経験〕								
整形靴・義肢装具製作会社である株式会社大井製作所、有限会社平井義肢製作所に勤務。整形靴および足底装具の製造、接客業務に従事。2016年12月よりオーダー靴、整形靴の製作工房を開業。靴およびインソールの製作、靴修理、接客、販売を行なう。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①代表的な4つの靴調整である「ロッカーバー・脚長差調整・ラテラルウェッジ・メディアルウェッジ」の製作ができる ②疾患に適した調整の判断ができるようになる ③フットプリントの採取・情報収集の手順を覚える ④健康靴の構造と加工方法を修得する								
回数	講義内容							
1	フットプリント／ロッカーバーが適応となる足の疾患・変形についての講義							
2	底切り・ロッカーバーの製作							
3	ロッカーバーの製作							
4	ロッカーバーの製作							
5	ロッカーバーの製作							
6	フットプリント／脚長差調整が適応となる足の疾患・変形についての講義							
7	脚長差調整の製作							
8	脚長差調整の製作							
9	脚長差調整の製作							
10	脚長差調整の製作							
11	フットプリント／ラテラルウェッジが適応となる足の疾患・変形についての講義							
12	ラテラルウェッジの製作							
13	ラテラルウェッジの製作							
14	ラテラルウェッジの製作							
15	フットプリント／メディアルウェッジが適応となる足の疾患・変形についての講義							
16	メディアルウェッジの製作							
17	メディアルウェッジの製作							
18	メディアルウェッジの製作							
19	メディアルウェッジの製作							
20	試験							
21	試験							
22	試験							
23	試験							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
	書籍名	著者名	出版社					
	整形靴の基礎知識		JESC					
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
授業時の製作物＋実技試験の合計点数で評価								